



2024年10月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ク ア ラ イ ン
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 大垣内 剛
(コード番号：6173 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役副社長 経営企画部長 加藤 伸克
(TEL. 03-6758-5588)

過年度の決算訂正及び過年度の特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、過年度の決算について訂正するとともに、投資有価証券評価損、暗号資産評価損、偶発損失引当金繰入額、減損損失を特別損失に計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

当社は、2024年7月5日付「特別調査委員会設置並びに2025年2月期第1四半期決算発表の延期及び2025年2月期第1四半期報告書の提出期限延長申請の検討に関するお知らせ」及び同年7月16日付「2025年2月期第1四半期報告書の提出期限延長に係る承認申請書提出のお知らせ」にて公表いたしましたとおり、外部機関による調査（資料の提出、ヒアリング）の過程において、当社が保有する投資有価証券（暗号資産転換可能社債）及び暗号資産関連の取引及び水まわりサービス支援事業における取引に関して、過年度より不正確な会計処理が行われていた可能性の指摘を受け、当社と利害関係を有しない外部の専門家からなる特別調査委員会による調査（以下「本件調査」といいます。）を行ってまいりました。

本件調査の結果、同年9月18日付「特別調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」のとおり、当社と特定の加盟店との間での水まわりサービス支援事業に関する債権債務の決済取引に関して、当社代表取締役社長の主導によって、その一部に当社代表取締役の自己資金を原資とする取引が含まれており、また、その他に当社が管理する他の加盟店の銀行口座等を通過させる取引等も含まれているという報告を受け、その経済的実態は資金移動取引であることが判明いたしました。加えて、特定の加盟店に対する水まわりサービス支援事業の売上高の取引価格の算定に誤りがあることが判明いたしました。また、これらに関連して、貸倒引当金の算定に誤りがあることが判明いたしました。さらに、当社が保有する投資有価証券（暗号資産転換可能社債）の評価及び暗号資産の処分見込額の見積りについて、保有区分の見直し等に伴う評価方法の見直しを提言されました。

しかしながら、2022年2月期決算の監査については、現任監査人が受嘱に至らず、現時点で監査が未了であり、これに伴い、2023年2月期及び2024年2月の決算の監査も未了であります。これにより、本日、2022年2月期から2024年2月期の有価証券報告書の訂正報告書、2022年2月期第2四半期から2024年2月期第3四半期の四半期報告書の訂正報告書を提出することが出来ません。2022年2月期、2023年2月期及び2024年2月期の決算の監査終了後速やかに提出いたします。

なお、2025年2月期期首の連結貸借対照表金額について、訂正後の2024年2月期期末残高を用いておりますが、2022年2月期、2023年2月期及び2024年2月期の決算は監査が未了であるため、2022年2月期、2023年2月期及び2024年2月期の決算数値に誤りがあった場合は、本日提出した2025年2月期第1四半期の四半期報告書について訂正となる可能性があります。

2. 本日付で公表した訂正決算短信

決算短信

2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

3. 訂正による過年度の連結業績への影響額

過年度の連結業績への影響額は以下のとおりです。

【連結財務諸表】

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前	訂正後	影響額	増減率 (%)
第27期 (2022年2月期) 第2四半期	売上高	3,081	3,080	△1	△0.0
	営業利益	△111	△112	△1	—
	経常利益	△116	△117	△1	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△98	△99	△1	—
	総資産額	2,875	2,874	△1	△0.0
	純資産額	878	877	△1	△0.1
第27期 (2022年2月期) 第3四半期	売上高	4,110	4,087	△23	△0.6
	営業利益	△399	△425	△25	—
	経常利益	△407	△432	△25	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△454	△479	△25	—
	総資産額	2,220	2,195	△25	△1.1
	純資産額	488	463	△25	△5.2
第27期 (2022年2月期) 通期	売上高	5,260	5,239	△21	△0.4
	営業利益	△499	△527	△27	—
	経常利益	△516	△543	△27	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△549	△577	△27	—
	総資産額	2,113	2,086	△27	△1.3
	純資産額	455	428	△27	△6.0
第28期 (2023年2月期) 第1四半期	売上高	1,057	1,045	△12	△1.2
	営業利益	△172	△187	△14	—
	経常利益	△171	△186	△14	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△140	△224	△83	—
	総資産額	1,957	1,965	7	0.4
	純資産額	298	187	△111	△37.2

第28期 (2023年2月期) 第2四半期	売上高	2,199	2,186	△12	△0.6
	営業利益	△209	△232	△23	—
	経常利益	△201	△225	△23	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△166	△258	△92	—
	総資産額	1,648	1,608	△39	△2.4
	純資産額	△154	△274	△119	—
第28期 (2023年2月期) 第3四半期	売上高	3,287	3,296	8	0.3
	営業利益	△304	△311	△6	—
	経常利益	△296	△302	△6	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△230	△332	△102	—
	総資産額	1,816	1,735	△80	△4.4
	純資産額	△119	△249	△129	—
第28期 (2023年2月期) 通期	売上高	4,575	4,588	13	0.3
	営業利益	△257	△242	14	—
	経常利益	△241	△225	16	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△170	△325	△155	—
	総資産額	2,021	1,885	△136	△6.8
	純資産額	135	△39	△175	—
第29期 (2024年2月期) 第1四半期	売上高	1,161	1,162	0	0.0
	営業利益	△52	△66	△13	—
	経常利益	△47	△62	△15	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△29	△90	△60	—
	総資産額	2,291	1,892	△399	△17.4
	純資産額	94	△144	△238	—
第29期 (2024年2月期) 第2四半期	売上高	2,449	2,450	0	0.0
	営業利益	△60	△78	△18	—
	経常利益	△50	△69	△19	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△16	△93	△76	—
	総資産額	1,877	1,946	68	3.6
	純資産額	89	△156	△246	—
第29期 (2024年2月期) 第3四半期	売上高	3,661	3,664	3	0.1
	営業利益	△100	△330	△229	—
	経常利益	△86	△315	△228	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△118	△383	△264	—
	総資産額	1,584	1,722	138	8.8

	純資産額	494	58	△435	△88.2
第29期 (2024年2月期) 通期	売上高	4,838	4,845	6	0.1
	営業利益	△260	△347	△87	—
	経常利益	△239	△328	△88	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△212	△376	△163	—
	総資産額	1,405	1,506	101	7.2
	純資産額	384	53	△331	△86.1

4. 特別損失の計上

当社は、2024年9月18日付公表の「特別調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、当社における不適切な会計処理等に関する特別調査委員会の調査報告書を開示し、当該調査報告書の内容を踏まえ、過年度の決算内容の訂正を行いました。

これに伴い、2023年2月期連結会計年度及び2024年2月期の特別損失について、下記のとおり計上することとなりました。なお、上記3.の第28期（2023年2月期）通期及び第29期（2023年2月期）通期の訂正後の金額に含まれております。

【連結損益計算書 特別損失】

(単位：百万円)

期間	勘定科目	訂正前	訂正後	影響額
第28期 (2023年2月期) 通期	投資有価証券評価損	—	52	52
	暗号資産評価損	—	67	67
	偶発損失引当金繰入額	—	43	43
第29期 (2024年2月期) 通期	固定資産売却損	0	0	—
	投資有価証券評価損	0	126	125
	暗号資産評価損	70	20	△50
	関係会社株式評価損	0	0	—
	貸倒引当金繰入額	60	60	—
	減損損失	—	39	39

以上